

北保証サービス

転貸融資は34%減

15年度上期金融取扱実績

北保証サービスは、15年度上半期（4～9月）の金融事業取扱実績をまとめた。

中小建設業の資金繰り支援や連鎖倒産防止を目的とする「地域建設業経営強化融資（転貸融資）制度」は、4月に前年度の持ち越し分の取り扱いが1件もなかったことなどが影響し、前年同期比34・0%減の2億460

| | |
|--|---|
| <p>15年度上半期の利用は23件（前年同期28件）で、融資金額は2億4608万円となった。</p> <p>発注者別の取扱実績では、国と北海道で大幅に前年同期を下回った。国は73・6%減の1013万円、北海道は95・4%減の533万円。一方、市町村は5・3%増の2億3062万円と微増した。</p> <p>同制度は運用期間が16年3月末まで1年延長されたが、4月1日からの適用分は、企業が負担する調達金利に対する助成の上限が1・1%から0</p> | <p>8万円に減少した。「下請債権保全支援事業」は景気回復で利用ニーズが低下し、48・1%減の4億3197万円となった。</p> <p>転貸融資制度は、主に公共工事を受注した元請建設会社が、北保証サービスから前払金保証事業の専門子会社などに工事請負代金債権を譲渡し、工事の出来高に応じて金融機関から転貸融資を受ける仕組み。</p> |
| <p>・5%に、事業協同組合などによる出来高査定の際費用助成の上限が10万円から8万円にそれぞれ引き下げられた。</p> <p>このため3月に駆け込み需要があり、4月の取扱実績が0件となったことなどが大幅な減少につながった。</p> <p>下請企業が元請企業に對して持つ工事請負代金などの債権の支払いを保障する下請債権保全支援事業（保証ファクタリング）の利用件数は76件（前年同期比36・1%減）で、金額は4億3197万円（48・1%減）。</p> | <p>商品別の内訳を見ると、個別保証の売掛金保証が1億4291万円（48・6%減）、同じく手形保証が1億5441万円（62・8%減）、枠保証が1億3465万円（3・2%増）となっており、全体的に前年度の約半減となる中、枠保証のみが微増した。</p> <p>全体的に見ると利用実績がほぼ半減していることについて、北保証サービスの担当者は「業界自体に好感感があり、利用者のニーズが低下しているのではないかと分析している。」</p> |